民報 あばしり
NO.932
2013・8・18
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四二－四四五八
FAX 四二－四四五七

市議会農作物作況調査を行う
小雨・高温の影響が各地域で！

8月9日（金）13時30分より市議会経済建設委員会の農作物作況及び施設等の視察調査が行われました。

共産党議員団の飯田、松浦両議員は委員外議員として参加し、西地域の嘉多山（畑作3品）、中央地域の昭和（畑作3品・行者菜）、南地域の音根内（畑作3品・センキュウ）と網走市小麦集出荷施設を視察しました。

小麦・馬鈴薯・てんさいの畑作3品は地域差にバラツキはあるものの、5月末までの低温・多雨の影響で生育が遅れと7月の小雨・高温により質・量ともに今ひとつと言うところです。

小麦は天候に恵まれ、刈り取りはほぼ終了しましたが、品質の低下は避けられないようです。馬鈴薯とてんさいは地下茎が小さく、これからの降雨と気温のバランスが必要で秋にかけての寒暖の差も影響してくるとか。

10日から11日にかけて久しぶりの降雨がありましたが、今後の天候の推移が農作物の作況に大きく影響しそうです。

網走湖産シジミの異臭（カビ臭）の原因特定される
西網走漁協、自主休漁を継続

7月23日、網走湖産のシジミから異臭（カビ臭）が指摘され、原因が判明するまでシジミ漁を自主休業措置を西網走漁協が実施しました。

8月6日に西網走漁協は記者会見を行い、異臭原因の物質は藍藻類などにより生成される「2－メチルイソボルネオール（2－MIB）」だったと発表しました。2－MIBは、富栄養化に伴って湖沼などに発生するカビ臭の原因の一つで、人への毒性はないといいます。発生原因は特定されていませんが、今年は小雨などで河川からの湖への流入が少ないうえに、水温も高いことなどが影響していると見られています。

今後は、オホーツク総合振興局（水産課）を窓口に水産試験場などと連携・協力し、原因を調べて行く予定です。

8月6日と12日に食味調査を行い、異臭はかなり改善されているが、慎重を期して12日の調査シジミを分析センターに送り16日までに分析してもらい、2－MIBの濃度が下がっていれば、19日に再度、食味調査して食に適しているか判断したいとしています。

いしかわ敏勝 東奔西走。

68回目の終戦記念日には、熱戦につぐ熱戦の高校野球も試合を一時中断して選手・観客ともに黙祷を行い、戦争で犠牲になった高校球児を含む犠牲者をしのび平和を祈念します。

その高校野球、今年から、ずっと問題視されてきた投手の連投、酷使にたいし、「休養日」を設けることに踏み出しました。準々決勝を1日で4試合行うと同時に、その翌日には「休養日」を設けることにしました。

「夏の暑い中では疲労が蓄積する。なるべく公平な条件でたたかわせたい」というのが理由です。直接的な導入きっかけは、今春の選抜で準優勝の済美高の安楽投手が準々決勝から三連投するなど9日間で5試合772球を投げ、「投手生命が絶たれる危険がある」と議論が起こり、波紋が広がった結果です。

大事なのは連投につぐ連投が美徳であるかのマスコミ報道と「選手の健康より目の前の勝利が優先」との指導者の考え方を乗り越えることが必要ですが、今回の措置はゆっくりな歩みですが、一つの前進です。

選手本位の更なる高校野球の前進を期待したい。

松浦さとし 奮戦メモ！

8月15日は、日本が引き起こした第2次世界大戦で敗戦を迎えた日であり、戦争が終わった日でもあり終戦記念日とも言われています。この戦争はアジアの諸国民2000万人、日本国内でも320万人もの尊い命が奪われました。この教訓にたって平和憲法ができたのです。だから憲法前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法はかかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」とあります。

現憲法を曇った心で見るから変えたくなるのでしょうか？

流氷

「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守りことを望み見ます」は母親大会の合言葉です。母親や女性に限らず、生命を大切にすることは、人間として当たり前のことでしょう▼しかし、いつの時代も平和や安全なくらしは「守ろうとする力」がなくては成り立たないものだと最近つくづくおもうのです▼1954年、アメリカの水爆実験で第5福竜丸の乗組員、久保山愛吉さんが「死の灰」を浴びて亡くなりました。広島、長崎に次ぐ3度目の被爆に母親たちは「子どもを核戦争の危機から守ろう」と世界の母親に訴え、1955年7月、スイスで初めての「世界母親大会」が開かれました。それを受けて日本でも開かれ、網走では今年で46回目を迎えます▼今年の、網走母親大会では、全国「九条の会」事務局長の小森陽一さんを迎えて「今こそ、憲法の輝きを日本に、そして世界に」・・戦争する国に戻るのはゴメン！・・と題して講演してもらいます。世論調査でも5割から6割の国民が憲法を変えることに反対しています▼「国防軍」を広辞苑で調べたら、外交の侵略に対して国家を防衛する軍隊のこととありました。「侵略」とは、他国に侵入してその領土や財産を奪い取ることとありました▼極端かもしれませんが、いつも思うのは軟らかい赤ちゃんの肌と固い鉄骨の武器はどうしても相容れない。生命を守るのはやっぱり武器ではなく平和憲法ですよね▼8月20日（火）エコーセンターの3階研修室です。平日の13時ですが、母親や女性だけでなく父親や男性にも是非にとよびかけます！みなさん足を運んでください！（N）